

報道関係者各位

2025 年 4 月吉日



韓日国交正常化 60 周年記念公演

次世代の韓日伝統芸術家たちの交流舞台

～韓日青年音楽家の出会い Vol.7～

本年 2025 年に、韓国と日本は 1965 年の韓日国交正常化から 60 年という節目を迎えます。

駐日韓国文化院では、舞台公演から展示、若者に向けてメッセージを発信するイベントまで 2025 年の韓日国交正常化 60 周年を記念する多彩なイベントを開催しています。3 月 5 日（韓日音楽の雅と趣）、4 月 5 日（時の中の相生）の舞台に続いて、三回目となる今回の韓日伝統交流舞台は MIN-ON、韓国国立釜山国楽院と共同開催で、駐日韓国文化院 ハンマダンホールで開催します。

今回の公演は「韓日青年音楽家の出会い」と題し、韓国のパンソリ、テグム、ヘグム、チャンゴ舞台と、日本の津軽三味線、二十五弦琴、太鼓の演奏、そして両国の音楽家によるコラボレーション舞台をお届けする予定です。

つきましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。写真資料、出演者の詳しいプロフィールなどのご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

★マスコミの方々でご鑑賞をご希望の方にはお席をご用意いたしますので、
メール 《 pr@koreanculture.jp 》までご一報ください。



- 行事名: 韓日国交正常化 60 周年記念公演 - 韓日伝統音楽家の出会い
- 日時: 2025 年 4 月 18 日 (金) 19:00 開演
- 会場: 駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール
(東京都新宿区四谷 4-4-10)
- 出演:
 - [韓国] イ・ジンヒ (チャンゴ)、オ・ギョソン (テグム)
ハン・スジ (ヘグム)、シン・ジンウォン (パンソリ)
 - [日本] 浅野祥 (津軽三味線)、本間貴士 (二十五絃箏)、坂本雅幸 (太鼓)
- 主催: 駐日韓国大使館 韓国文化院, MIN-ON、国立釜山国楽院

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp
イベント担当 朴志勲 (パク・ジフン) / 広報担当 趙恩京 (ジョ・ウンギョン)

【出演者】



イ・ジンヒ / チャンゴ (国立釜山国楽院 器楽団)

器楽団楽長 (打楽)

釜山大学校 韓国音楽学科・同大学院修士及び博士課程修了
釜山大学校出講



オ・ギョソン / テグム (国立釜山国楽院 器楽団)

梨花女子大学校 韓国音楽家卒業・同大学院卒業

国家無形文化財宗廟祭禮樂履修者



ハン・スジ / ヘグム (国立釜山国楽院 器楽団)

韓国芸術総合学校 伝統芸術院芸術士卒業・専門士卒業

第 31 回全国国楽競演大会ヘグム部門金賞

釜山大学校 韓国音楽学科博士課程修了



シン・ジンウォン / パンソリ (国立釜山国楽院 声楽団)

全羅北道無形遺産パンソリ「水宮歌」履修者

中央大学校 国楽大学 音楽劇科卒、全北大学校 大学院 韓国音楽学科修士課程卒業

2010 韓国人材賞大統領賞

釜山大学校大学院 韓国音楽学科博士課程

浅野祥 / 津軽三味線



祖父の影響により、3 歳で和太鼓、5 歳で津軽三味線を始める。その後、三絃小田島流 二代目小田島徳旺氏に師事。7 歳の時、青森県弘前市で開催される津軽三味線全国大会に最年少出場し、翌年から各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。2004 年津軽三味線全国大会、最高峰の A 級で最年少優勝 (当時 14 歳) その後、2006 年まで連続優勝し、3 連覇を達成。同大会の規定により、殿堂入りを果たす。2007 年 17 歳でビクターエンターテインメントより「祥風」でメジャーデビュー。近年では「日本遺産×芸能」をテーマに掲げる文化庁主催『NOBODY KNOWS』への参加など、日本文化の掘り起こしや普及にも積極的に取り組む。また、日本各地の民謡を現代の感

覚で作編曲する「MIKAGE PROJECT」や複数の邦楽演奏家からなる「ART 歌舞伎楽団」に参加し、新たな音楽シーンを切り拓いている。

本間貴士 / 二十五絃箏



3 歳より箏を 12 歳より三味線を母から手解きを受ける。桐朋学園芸術短期大学芸術科音楽専攻卒業。並びに専攻科、研究生修了。第 7 回ルーマニア国際音楽コンクール室内楽部門第 1 位。理事会賞受賞。NHK 総合「民謡魂」、NHK WORLD「Blends」、TV アニメ「この音とまれ」等メディアの他、舞台演劇や映画作品へも出演、収録に参加している。2019 年、avex より「桜 men」のメンバーとしてメジャーデビュー。生田流箏曲芙美音会主宰補佐。(公社)群馬三曲協会理事。アーティスト集団[壹-ichi-]総監督。水野箏曲学院本部所属。MIKAGE PROJECT メンバー。

坂本雅幸 / 太鼓



太鼓芸能集団「鼓童」の中心的な演奏者としてソロやセンターポジションを務め、アンサンブルの要として長きにわたり舞台をリードし続けた。

2018 年よりソロの和太鼓奏者としての活動を開始、国内はもとより世界各国で演奏活動を行う。太鼓の可能性の探求にも力を注いでおり、自身が発案、開発に携わる調律桶太鼓「奏」や電子和太鼓「Taiko-1」は共にグッドデザイン賞を受賞。2022 年からはオンラインでのコミュニティ「オンライン太鼓サロン」、海外に向けての「Online Taiko collective」を主宰。

【韓国国立釜山国楽院】

国立釜山国楽院は文化体育観光部傘下の国立国楽院（1951 年）の地方国楽院で南原（ナムウォン）の国立民俗国楽院（1992 年）と珍島（チンド）の国立南道国楽院に続き 2009 年 10 月 28 日開院しました。

国立釜山国楽院は公演・教育・研究・振興を統べる複合機能の国立芸術機関として釜山・嶺南地域の伝統文化を発掘・育成及び保存・継承して地域間のバランスのある文化発展を図り国際海洋文化都市としての文化競争力の確保と高品格の文化コンテンツ及び文化インフラの構築・拡大のために運営を行っています。地域情緒と歴史性を反映した公演作品と教育・研究・振興活動を通じて地域住民の和合と文化的プライドを鼓吹して様々な代表公演作品を開発して、地域文化発展に寄与したいと考えています。

我が国の第 2 の都市及び東南圏の拠点都市の位相と国立国楽院の始発地である釜山の歴史的な伝統性をもとにし、国立釜山国楽院は多様な国内外の行事を成し遂げ、更には環太平洋圏民族音楽文化の研究と交流を重要な事業目標として世界文化の発展に貢献する国立釜山国楽院を目指します。